

# 日本側からブラジル側への提案書

～世界に冠たる農業大国としての更なる発展に向けた  
ブラジルにおける投資・ビジネス環境の改善～

2017年7月7日  
於：第3回日伯農業・食料対話

日本側からのブラジル側への提案書  
～世界に冠たる農業大国としての更なる発展に向けた  
ブラジルにおける投資・ビジネス環境の改善～

成長を続けるブラジルの農業及びアグリビジネスの更なる発展のため、ブラジルに進出している日本企業に対して実施したアンケート調査の結果及び本日の対話における議論に基づき、以下のとおり提案する。

1. ブラジル農畜産物業の競争力強化に向けた提案

ブラジルは世界の食料安全保障に大きな役割を果たしており、数多くの農畜産物を生産し、輸出している。その一方で、ブラジル国内の加工技術が十分でないために輸入せざるを得ない二次原料食材があるほか、より効率的で環境負荷を低減できる技術の導入によりその価値を高めることができる製品も多く存在する。これらを改善することでブラジルの農畜産業は更なる競争力を得ることができる。そのためには、日本企業の技術の活用が有益である。

**【具体的提案】**

- (1) ブラジル農畜産物の生産・加工の効率化や、環境負荷の低減等に役立つ日本企業の技術の導入
- (2) 上記(1)のための、日本企業とブラジル農牧研究公社(EMBRAPA)との産学連携体制の構築

2. 税制・通関・各種手続の改善に向けた提案

複雑な税制や煩雑な諸手続等は、ブラジルにおいてビジネスを行う上での長年の課題となっており、その早急な改善が望まれる。

**【具体的提案】**

- (1) 州間 ICMS (商品流通サービス税) の税率の統一・最少化、代行納税制度の廃止等の税制改革
- (2) 通関手続、農務省(MAPA) や国家衛生監督庁(ANVISA) 等における登録、審査等の各種手続の統一化・透明化・簡素化・迅速化

### 3. 穀物輸送インフラの改善に向けた提案

ブラジルの穀物生産が成長を続けている中、ブラジル国内の輸送インフラ網の整備により輸送コストを削減することは、国際競争力を高めていく上で喫緊の課題である。特に、南部と比較して輸送インフラの整備が遅れているブラジル北部・北東部地域は、インフラ整備による輸送コスト削減効果が大きく、優先的に整備を進めることが期待される。

#### 【具体的提案】

- (1) ブラジル国内の穀物輸送インフラ網の整備に関する計画や政策についての積極的な情報提供
- (2) ブラジル北部・北東部地域における穀物輸送インフラ網の優先的整備

### 4. 外貨規制の緩和に向けた提案

ブラジルには数多くの有望なインフラ投資案件があるものの、ブラジルにおける現状の外貨規制は利便性が悪く、これが一因となり、海外からのインフラ案件への投資が妨げられている。外資導入を通じてインフラ整備を進捗させている近隣諸国の事例を参考に、為替リスクを軽減するために、外貨での投資を可能とするなど、海外からブラジルへの投資を促進するための制度の整備が望まれる。

#### 【具体的提案】

外貨での投資等を可能とする制度環境の整備

2017年7月7日